

【施設状況】

グループ名称	信州新町授産センター								
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ					法人番号	6010705002441		
所管課	主	100600	福祉政策課	副					
構成施設	1369	信州新町授産センター							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	社会事業授産施設 【施設本体】 鉄骨造平屋建 延床面積765.00㎡ 作業室、休憩室(食堂)、更衣室、事務室 【倉庫】 木造平屋建 延床面積19.87㎡								
施設設置目的	身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に対して、就労又は技能の修得のため必要な機会及び便宜を与えて、その自立を助長することを目的とする。								
基本方針等	身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に、より良い就労環境と機会を与え、障害のあるなしに関わらず施設利用者の枠を超えて交流できる、地域に根ざした施設となることを目指す。								
主な実施事業	社会事業授産施設 民間企業から作業を受託し、その受託作業に係る収入を工賃として支払うことにより、通常の雇用契約による就業が困難な施設利用者の自立の助長を図る。								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ			指定回数	2 回	
指定期間	平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年	管理運営開始日	平成23年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		授産施設 (利用者月平均)	人	28	27	24	19	79%	3
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
<p>(特記事項)利用者定員30人。生活保護法の規定による要保護者、障害者等の技能修得・就労機会の提供を目的とする施設であり、定員に余裕があるときは、一般の利用者を受け入れるもの                  【内訳】利用登録者数18人(生活保護法の規定による要保護者16人、一般利用者2人)※令和2年3月31日現在</p>									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授産施設の事業実施に関する業務</li> <li>・授産施設の利用許可・条件付与・許可取消しに関する業務</li> <li>・授産施設の施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>・授産施設の利用料金の収受、割引等に関する業務</li> <li>・授産施設の効用を増加させる自主事業に関する業務</li> </ul>							
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 農業体験並びに収穫物の販売活動</li> <li>② 地域における生活困窮状態にある人たちの就労体験の受け入れ</li> <li>③ 地域活性化(地方創生)に向けた市民自治を考える講演会の開催</li> </ul>			<未実施> ① 互助会事業として実施 ② 所管課への受入希望を伝えてあるが、利用要望なしのため、未実施 ③ 自主予算措置の調整ができなかったため、未実施				
サービス維持・向上の取組み (広報等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者の増加を図るため、行政機関、地域住民、民生委員等との連携を通じて施設の周知・利用案内を行った。</li> <li>・今年度は形にはならなかったが、今後の自主事業の実施のため、地域事業者との連携を図っている。</li> </ul>								

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	その他	3
		(2) 調査、会議等の内容 日々の作業において、常に作業指導員が施設利用者による作業方法の指導を実施しているほか、休憩の際には、施設長、作業指導員及び施設利用者が一つの休憩室に集まり親睦を深め、施設利用者とのコミュニケーションの維持向上に努めている。		
		(3) 調査、会議等の結果 地元企業の廃業により、作業収入が減少したことに対する不満が寄せられた。		
利用者からの評価・苦情等	利用者からの評価	(1) 良好とする評価		3
		(2) 苦情・改善等の要望事項 ・工賃収入がもっと欲しい。 ・特定の利用者との関係がよくない。		
		<<対応措置>> ・取引先が2社廃業となったこともあり工賃収入の減少となったが、コロナ禍においても、これまで閑散期だった1月から3月について新規の取引先を開拓した。		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	25,000	利用料金	19,300	歳入	使用料	16,797,410	使用料	18,618,470
	指定管理料	24,993,000	指定管理料	24,993,000		雑(納付金)		雑(納付金)	
	委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料	
	その他収入	597,000	その他収入	704,474		その他		その他	
	作業収入	3,000,000	作業収入	3,540,077		負担金(保護施設事務費)		負担金(保護施設事務費)	
	就労奨励費	130,000	就労奨励費	150,810					
計	28,745,000	計	29,407,661	計	16,797,410	計	18,618,470		
支出	人件費	17,192,000	人件費	17,670,061	歳出	指定管理料	24,993,000	指定管理料	24,854,000
	設備管理費	377,000	設備管理費	296,619		委託料		委託料	
	備品購入費	100,000	備品購入費	288,320		需用費		需用費	
	修繕費	50,000	修繕費	11,926		役務費	12,990	役務費	12,458
	光熱水費	1,310,000	光熱水費	1,023,664		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	2,183,000	事業費	1,689,495		修繕費		修繕費	
	事務経費	611,000	事務経費	750,180		工事請負費		工事請負費	
	本社経費	3,792,000	本社経費	3,792,000		備品購入費		備品購入費	
	その他		その他			その他		その他	
	支払工賃	3,000,000	支払工賃	3,540,077					
就労奨励費	130,000	就労奨励費	150,810						
計	28,745,000	計	29,213,152	計	25,005,990	計	24,866,458		
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		194,509	差引	-8,208,580		-6,247,988	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								60.5%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) ・常勤6人(4人) 【内訳】施設責任者1人(0人)、事務員1人(1人)、指導員4人(3人)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制

※ すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

No. 9

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価			
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3			
<table border="1"> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の地元(地域住民及び市内居住者)雇用</li> <li>・物品購入や修繕・業務委託に関する地元事業者の積極的活用</li> <li>・近隣諸施設の施設状況を把握し、施設利用上の協力態勢に努める。</li> <li>・障害者の雇用改善という共通の目的に向かって、他施設と連携し、地域福祉推進の一翼を担っていきたいと考えている。</li> </ul> </td> <td></td> </tr> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の地元(地域住民及び市内居住者)雇用</li> <li>・物品購入や修繕・業務委託に関する地元事業者の積極的活用</li> <li>・近隣諸施設の施設状況を把握し、施設利用上の協力態勢に努める。</li> <li>・障害者の雇用改善という共通の目的に向かって、他施設と連携し、地域福祉推進の一翼を担っていきたいと考えている。</li> </ul>
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の地元(地域住民及び市内居住者)雇用</li> <li>・物品購入や修繕・業務委託に関する地元事業者の積極的活用</li> <li>・近隣諸施設の施設状況を把握し、施設利用上の協力態勢に努める。</li> <li>・障害者の雇用改善という共通の目的に向かって、他施設と連携し、地域福祉推進の一翼を担っていきたいと考えている。</li> </ul>				

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
<b>合計得点</b>			

評価理由	
------	--

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
施設利用者の減少 新規受注企業の開拓	<p>【利用者の減少について】 地域住民、民生委員等に施設周知をし、利用者の増を図ったが、高齢化等による退所により、前年度比で利用者は減少した。</p> <p>【新規受注企業の開拓】 新規企業の開拓を行い、獲得できた。</p>	<p>【利用者の増について】 信州新町をはじめ、近隣地区の民生委員や地域福祉ワーカー、保健師等に対して施設の周知を行い、施設利用者の増を図る。</p> <p>【新規受注企業の開拓】 引き続き近隣で取引先を探しつつ、自主事業の充実を図る。</p>	

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の大半を占めていた事業所の閉鎖・移転に伴い、令和元年度は大幅に作業量・工賃が減少した。施設利用者の作業と工賃を確保するため、新規受注企業の開拓を進めるとともに、自主事業を実施する必要がある。</li> <li>・施設利用者が減少しているため、近隣地区の住自協・地域福祉ワーカー・民生委員等に施設を周知し、施設利用者の増を図る必要がある。</li> <li>・施設が築20年を経過し、施設・設備の老朽化が進んでいるので、日々の点検等を通じて修繕が必要な個所の早期発見に努め、協定に基づく責任分担の下、適切な修繕等の対応を行う。</li> </ul>
---------------------	---

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

新町授産センターは直営時代の価値観が色濃く残っている施設であった。取引先も地元企業から質、量ともに不足なく供給されてきたが、この数年でその流れが大きく変わってきている。今後授産センターを運営していく上で地域との密接な関わりがより重要になってくる。利用者の困りごとのはもちろん、地域の困りごとと一緒に考えて行ける施設になりたいと考えている。ひとつの試みとして信州新町の信級地域と連携し、地域の再生と新たな産業の創出を模索している。(1. 農業での連携 2. 林業での連携 3. 地域活動での連携(イベント参加、祭等))これからは企業からの仕事に頼り賃金だけの為に働くのではなく、自分達の居心地の良い居場所としての授産センターを地域と利用者とともに創り上げていくことが良い仕事となり、良い居場所、施設になると考えている。

② 業務の効率化に対する取組み

この数年にわたり取り組んで来たのは、指導員だけが指導管理するのではなく、利用者が自主的に考え、効率と質をともに向上させるという試みである。これまで梱包や検品は指導員の仕事だったが、利用者と一緒に検品と梱包をして徐々に利用者任せにすることで、利用者には工賃を上乘せでき、指導員は別の仕事や慣れない利用者に対して時間が使えるようになった。企業からの仕事に限らず、施設内の清掃や維持管理等も利用者で行っていくことで、仕事も多様化し指導員と利用者の垣根も無くなり、効率的かつ協力的な関係が築かれている。

③ その他

利用者の高齢化は事業所運営においても課題ではあるが利用者の課題でもある。そういった利用者にとって単なる仕事場ではなく、利用者みんなのおうちとなれるような運営を目指していきたい。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

近隣地区にも授産センターを知っていただき、利用者の増加を図る等の授産センターの課題、利用者の課題も見えてきた。またそれに対する連携や事業展開も少しづつ形が見え始めている。企業回りをして仕事を確保する方が即効性はあるかもしれないが、私たちは地域の課題でもありと思っています。地域と一緒に、地域を良くしていくことが授産センターにとっても必ず良い影響を与えるものと考え事業を展開していきたい。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る
- 【B】計画や目標を上回る
- 【C】計画や目標どおり
- 【D】計画や目標を下回る
- 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

C

① 評価理由

授産センターの利用者数、企業収入だけ見ると決して合格点とは言えない。しかし、この数年その課題を見据えながら新たな授産センターの運営を模索してきたこと、ネットワークを構築してきたことが少しづつ実を結びつつあること、そして次年度以降への足掛かりが出来たことは予想以上の収穫と言える。よって差し引き上記の評価とした。

② 次年度以降の取組み

信級との連携による事業展開を具体化していく。①信級、革鞣し事業者との連携による鹿革の販売と加工品の開発・制作 ②信級地域の耕作放棄地の再生を兼ねての農業 ③信級地域の里山整備(県の林務課と相談中) ④これらの事業を複合化させ雇用を創出し、移住、定住へとつなげる。以上の事業を展開することで新たな仕事生まれ、そのネットワークの中から授産センターの利用者、協力が生まれてくるものと考えている。